



桜の聖母短期大学
親と子の広場

小さなクラスの

さくらっこだより

火・金曜日

2017年1月号



新年、あけましておめでとうございます。

年末年始、皆様どのようにお過ごしでしたでしょうか。帰省された方、地域のお正月行事に参加された方もいらっしゃることでしょう。子ども達にとっては、家庭で過ごす日常とは違って、たくさんの方にお会いして声を掛けていただいたり、お正月のお料理をいただいたり、お正月の遊びを見たり・・・と、新しい体験が多かったことと思います。この経験が子どもを豊かに育てることでしょう。

さて、今年度の小さなさくらっことは、1月に6回、2月に2回を残すのみとなりました。4月から幼稚園に入園するお子さんがいらっしゃるご家庭では、わくわくどきどきしながら入園準備をしていらっしゃることでしょう。

短大の2年生は、2月8日に授業を終え、3月11日に卒業式を迎えます。1年生は、2月6日から10日間の保育実習（保育所）に行きます。

皆様、今年もどうぞよろしく願いいたします。

文責 奥田美由紀



～12月の広場より～
クリスマスを楽しもう！



生まれてまだ1～3年の子ども達。クリスマスってなんだろう？ ときっと思っているはず。そこで2年生の学生達は、クリスマスの雰囲気味わえるような遊びを考えてきました。靴下やとんがり帽子にシールを貼るのを楽しんだり、ツリーを飾ったりしました。



ベルとドレミパイプでクリスマスソングも味わいました。



ミニフラワーアレンジメント

お花をたくさんいただいたので、ミニフラワーアレンジメントを楽しみました。生花の香りに包まれ触れていると、心が落ち着き癒されます。みんな素敵に飾って持ち帰りました。



これからも時々楽しみましょう。



お気に入りの車

Aくん(3歳7か月)のお気に入りの車は「パパブーブ(パパの車)」「レッカー車」「JAF」。さくらっこに来たら、まずこの3台を確保します。

Hくん(3歳4か月)のお気に入りの車は「消防自動車」「救急車」「パトカー」。さくらっこに来たら、緊急車両系の車は確保します。

車が好きなお互いを意識しながらも、お気に入りの車を取ったり取られたり…と何度か経験している二人。だから、取られないように両手にぎゅっと握りしめています。一人遊びの時期から、次第に友達を意識するようになってきて、一緒に遊ぶ中で楽しさも悔しさも経験していくこの時期。少しずつ相手の気持ちを感じ取っていきます。

この共感性を育むために、「共感してもらった経験」が大切です。「この車使いたかったね」「取られて悲しかったね」「一緒に遊ぶと楽しいね」感情を共有



お買い物にお出掛けごっこ

「今日は、どこにお出掛けする?」「ヨーク!」

ごっこ遊びは3歳頃から始まりますが、これは子どもが生活体験の見立て遊びを卒業し、体験のイメージを能動的に整理し始めたことを表すと言われていいます。頭の中のイメージを表現するときにそれぞれの役を演じていくのは、人間関係を客観的にみる態度をもち始めたということでしょう。

Yちゃん(3歳)の運転する車にお母さんと私を乗せてくれました。行き先はヨークです。信号をよく見て停止したり、ハンドルを切ったり、大人のように運転します。お店に着くと、夕飯のおかずの材料やおやつのお菓子(色ごとに味も選んで)も3人分袋に入れて買ってくれました。レジでお金を払うときは、一人二役を演じ、会計を済ませます。

このお買い物お出掛けごっこは、「今日もしよう!」と2週連続で遊びました。単発の遊びではなく、イメージの連続性も出てきて、ごっこ遊びが楽しくなってくる時期ですね。



みんなでみんなの子を育てる

さくらこの良いところは、みんなの子どもをみんなで育てるところのように思います。どの子どもにも、自分の子どもと同じように声を掛けて遊びます。困っていれば助けてあげます。我が子が親以外の人と関わっている様子を客観的に見ることは新鮮です。



ダイナミックな遊び

滑り台と大型積み木を合体させようとテープでつないでいるHくん(3歳4か月)。目的をもって、集中して取り組んでいます。Yくん(2歳6か月)も高いところに上っていつも届かないところにも届きました。Yくんも1つ年上のHくんの遊びを見ながら、憧れの気持ちを持ち、自分に取り入れているのでしょうね。少しお兄さん、お姉さんと一緒に遊べる広場の良さがここにもあるように思います。

次の週、Hくんはこれを再現しようと、私の手を引いて、一緒に滑り台を運ぼうと誘ってくれました。遊びの工夫や連続性が見えてきています。



<1 週目>



<2 週目>

3歳、そして幼稚園

12月に3歳のお誕生日を迎えたYちゃんとSちゃん。みんなで歌をうたってカードをプレゼントしてお祝いをしました。インタビューにもハキハキ答えてくれて、3歳ってぐんと頼もしくなるな…と感じました。

2人の他にも、4月から幼稚園の年少組に入園するお友達がいます。4月からはなかなか会えなくなるけれど、さくらこでみんなと



過ごした時間が心の奥の「幸せ感」となって、いつか何かの力になってくれることを信じています。



子どもは親が笑っている場面が大好きです

先日、福島市子育て講演会に行ってきました。講師は白梅大学学長の汐見稔幸氏でした。汐見氏は、保育界の最前線で活躍されている方です。汐見氏をお招きした福島市の子育てに力を入れようとしている姿勢が伺えました。

汐見氏によると「子どもは昔からずっと地域で群れて育ってきた。核家族で家庭内で子育てをすることが多くなったが、現代風に群れ、遊び、手伝うという環境を作り、そこで子どもが経験することの意味は大きい」と述べていました。

そして「子ども達は、親が笑って生きている場面が大好きです」という言葉が最も印象に残りました。「お父さん、お母さんが元気よく生きている姿と接するとき、子どもは、自分が将来参入する世間という世界は、いいところかな…と思えるのです」ともおっしゃっていました。

私たち大人が心にゆとりを持ち、自分の幸せを実現させていくことは、子どもにとっても大切なことのようにです。

あなたは、どんなとき「幸せだな～」と感じますか？

講演の最後に、このような質問をしたお父様がいらっしゃいました。「私は仕事が忙しくて、子どもとの時間がなかなか持てません。子どもと接することができる短い時間で、この子にしてあげるべきことは何でしょう」と。汐見氏はこうお答えになりました。「『子どものため』と考えることも大切ですが、自分が楽しいこと、好きなことを子どもと一緒に楽しむこともお勧めします」と。

お父さんが大好きな釣りを生き生きとしている姿。子どもが読んで欲しいと言った絵本の他に、お父さんが好きな絵本を楽しそうに読んであげる姿。子どもは、大人の醸し出すものすべてを全身で受け取り、心に沁み込ませ、力強く生きる力に変えていくのだと思います。

今年も、大人たちも楽しい`幸せ感、感じる親と子の広場にしていきましょう！



<1月の予定>

10日(火)
13日(金)
17日(火) 休み
20日(金)
24日(火)
27日(金)
31日(火)

<2月の予定>

3日(金)
7日(火) 休み
10日(金) 休み
14日(火) 休み
17日(金) 休み
21日(火) 休み
24日(金) 休み
※年間予定と変更になりました
28日(火)

3月はお休みです

親と子の広場のご案内

～ 小さな“さくらっこ”～

日時	火・金曜日 10:00～11:30
場所	ミリアム館1階 保育室
年齢	0歳～就園前
参加料	無料
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円(年1回) ※おうちの方と一緒に参加してください
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や 着替えなど、必要と思われるものを各自で ご用意ください
担当	奥田美由紀 長谷川美香 ※学生も勉強のため参加します。

桜の聖母短期大学

📍福島市花園町3-6 ☎024-534-7137(代表)